

平成18年度老人医療市町別医療費統計表
(国保連合会データ抜粋)

高島市	件数	日数	費用額(10割)
入院	5,837	97,072	2,613,537,400円
入院外	118,179	233,455	1,806,779,070円
歯科	10,119	22,858	159,210,470円
調剤	55,421	—	877,486,410円
訪問介護	150	1,101回	1,028,020円
食事療養費	5,437	228,027	16,715,558円
総費用額			5,474,756,928円

県内26市町の1人当たり年間費用額の状況

	平均受給者数	費用額
〇〇市1位	8,375人	874,633円
高島市21位	7,854人	697,066円
〇〇町26位	797人	595,230円
滋賀県全体	138,718人	772,948円

県内市町別諸率から高島市の状況は…

	入院	順位	入院外	順位
受診率	74.32%	17位	1,504.70%	18位
1件当日数	16.63日	26位	1.98日	16位
1日当費用額	26,924円	7位	7,739円	18位
1人当費用額	332,765円	21位	230,046円	25位

	歯科	順位	医科+歯科	順位
受診率	128.84%	13位	1,707.86%	18位
1件当日数	2.26日	17位	2.63日	20位
1日当費用額	6,965円	4位	12,959円	16位
1人当費用額	20,271円	11位	583,082円	25位

【お詫言と訂正】
8月15日号P3「継体朝前夜を観る・語る」の定員は25人で、最低催行人数は15人の誤りです。お詫言し訂正します。
継体天皇即位1500年記念事業実行委員会
(商工観光課内)
☎(25)851-4

老人医療費 高島市の状況は？ 1人当たりの費用額は下位 でも安心はできません！

滋賀県国保連合会から平成18年度老人保健医療県内26市町別統計が出されました。
ここでは、皆さんに高島市の老人医療費の状況についてお知らせします。
老人医療費(3月診療分から翌年2月診療分(医科+歯科)の1人当たりの費用額で見ると、県内

26市町中25位で下位ですが、1日(件)当りの費用額で見ると、入院が7位、歯科が4位など上位に位置しています。これは、高度な医療を受けておられることが考えられ、やがては高額な医療費が必要になると予想されます。市では、皆さんが健康に過ごされるよう、健康づくり事業な

どを行っています。積極的にご参加いただき、日頃から病気の早期発見・治療に心がけましょう。
☎(25)8137
国保課年金課



継体天皇即位1500年 記念事業開催間近！

継体朝前夜を観る・語る

継体天皇の出生地である高島の自然景観を楽しみながら、史跡や伝承地を訪ね、夜には宿泊地のガリバー青少年旅行村で「継体朝前夜」を語り、翌日の高島歴史フォーラム「継体天皇と古代高島」に備えます。
▼期日 9月29日(土)



高島歴史フォーラム「継体天皇と古代高島」

記念事業の総括としてフォーラムを開催します。継体天皇の出自に関わる古代高島を各視点から討論し、次世代へ語り伝えます。
▼期日 9月30日(日) 受付9時30分
▼場所 高島市民会館

両事業とも申し込み締切りは9月25日(火)です。参加希望者は至急お申し込みください。

0157 続発！感染者数過去最高の恐れ

県内では7月中旬以降、0157等による腸管出血性大腸菌感染症事例が相次いで報告されています。平成18年に県内で報告された患者数は、平成8年に統計をとり始めて以降、最も多い年となりました。今年は、昨年同様に上回る患者数が報告されており、9月以降も感染が拡大するおそれがあります。
学校・幼稚園では新学期が始まり、各施設においても集団で活動される機会が増加する時期となっております。集団感染事例が発生しないよう、感染症・食中毒の予防を徹底しましょう。
☎(25)8110
国健康推進課



0157 予防は食中毒と同じ

食中毒予防の三原則

つけない

〈洗う〉
食品や手、調理器具をしっかりと洗う。
〈包む〉
食品はラップなどに包んで保存する。

増やさない

〈温度管理〉
食品は冷蔵庫に保存する。ただし、冷蔵庫の過信は禁物。
〈早く食べる〉
料理はできたてを食べきる。多く作り過ぎない。

やっつける

〈加熱〉
食品内部まで十分加熱する。
〈調理器具〉
包丁、まな板、ふきんなどは定期的に消毒を。

ふるさとの先人に学ぶ「まちづくり・人づくり・心そだて」

嬰鳴フォーラム 来年、高島市で開催！



作家童門冬二氏と愛知県東海市の呼びかけで、ふるさとの先人を通じて「まちづくり・人づくり・心そだて」に取り組んでいる全国13の自治体が集まって、7月28日(土)から30日間、初のフォーラムが東京で開催されました。本市からは、海東英和市長、岸田定議長ら9人が参加しました。「市長サミット」では、海東市長が中江藤樹の教えを生かした「立志祭」や「了佐てらこや小学校」などの事例をスライドで紹介し、多くの参加者から注目をあびました。

来年の開催地は、「藤樹先生生誕400年祭」を行う高島市に決まり、開催は平成20年9月27日(土)・28日(日)の両日です。



よえもん君

※嬰鳴とは、東海市出身の儒学者細井平洲が江戸で開いた私塾「嬰鳴館」に由来し、鳥が友を求めて鳴き交うという意味を転じ、同じ目的を持った人たちが集まって学び、切磋琢磨するということを意味します。

☎(32)4457
社会教育課